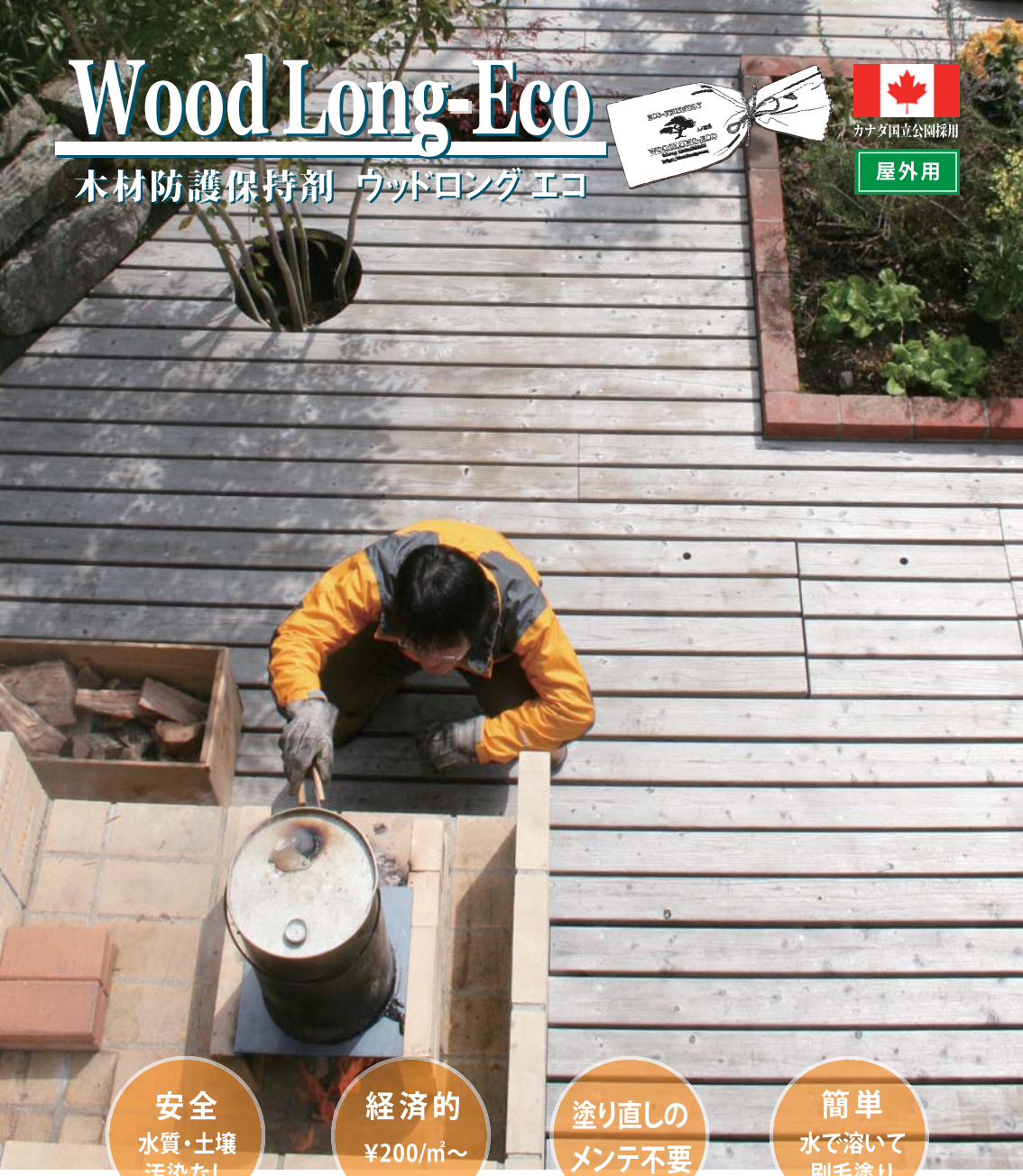
Wood Long-Eco

木材防護保持剤 ウッドロング エコ

カナダ国立公園採用

屋外用



安全
水質・土壌
汚染なし

経済的
¥200/㎡～

塗り直しの
メンテ不要

簡単
水で溶いて
刷毛塗り

◇ご使用前に必ずご覧ください。

◇お読みになったあとは、いつでも見られるところへ保管ください。

※万が一、本製品の使用に関し損害等が生じた場合でも、保証・弁済には応じかねますので、本書をご熟知した上、適切にご使用ください。

(有)小川耕太郎∞百合子社

ウッドロングエコの歩みとこれから

——小川耕太郎

2017年7月でウッドロングエコの販売をはじめ15年が経ちます。
発売当初は、シックハウスについて、マスコミでも多く取り上げられ、室内用塗料の安全に気をつかう方が増え始めた時でした。

1

しかし 屋外塗料にまで安全性を求める方は少なく基準も曖昧だったように思います。

水質汚染・土壌汚染をしない
生物や人体にも安全な塗料

塗りなおし
メンテナンスは不要

そんな中、必死になって売り歩きました。

2

幸い ウッドロングエコは多くの方々にご好評をいただきました。

しかし、それと共に
「ウッドロングエコを塗れば
手入れも何もしなくていい」
「ウッドロングエコを塗れば腐らない」
などの、誤った解釈が 一人歩き するようになってきました。

3

ウッドロングエコを
正しくお使い頂けるよう、
カタログやWEBを
定期的にリニューアル
しています。

まず お伝えしたいのは
木はいつかは朽ちるということです。

日本のような高温多湿の環境においては
調湿機能を持つ木材は、最適な素材です。
しかし逆に湿気を吸い込み
腐りやすくなるともいえます。

4

そのため、屋外に使う時は先代達は多くの工夫を重ねてきました。

5

例えばなぁ
屋外に使う場合は
まずは木を選ぶ
ことだな。
・杉なら赤身を使う、
・高樹齢の木を選ぶ
・雨に強い木材を選ぶ

次には、施工じゃ。
水はけを良くして通風をとる

そして、
適切な修繕じゃ。
一部分が腐っても、
すぐに修繕して
長持ちさせて
きたんじゃ。

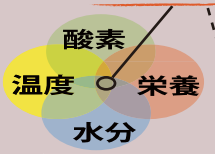
ウッドロングエコを
塗布することも
このような工夫の
ひとつです。

その工夫も
ウッドロングエコの性質を
よくご理解いただき、
適切にご使用いただかなければ、ご満足いただけるものにはなりません。

6

木に付着した、腐朽菌の活動により
木は腐っていきます。

腐朽菌が活性化するのは
以下の4つの条件が重なった時です。



腐朽菌

7

〈木材腐朽菌の活性化条件の詳細〉

温度：20~30℃。特に30℃前後に活発になる。
酸素：空気がなければ棲息できない
栄養：木材の主成分であるセルロース、
リグニン等
水分：大気中の湿度が85％以上
木材含水率25％以上

これら条件のひとつでも欠ければ木の腐りを抑えることができるというわけです。

9

4条件のうち
施工上の工夫を重ねることで、
水分だけは調整できます。

施工に工夫を！

10

さらに、日々のちょっとした
お掃除やお手入れが、
大切です。

11

お使いになる施工場所の条件などをよく確認し、ご使用いただくことがとても大切です。

12

天然由来のウッドロングエコは
腐朽菌の活着を抑え
木材の表面を保護します。
化学薬剤のような
腐朽菌を殺す作用は
ありません。

8

ウッドロングエコの特長を活かし
木材を長持ちさせるために、本書を
4項目にわけてご説明いたします。

1 ウッドロングエコを
塗布する前に
木材の事前確認を。 P.5-P.6

2 カンタンだからこそ
丁寧に塗布を。 P.7-P.8

3 木に湿気がこもらないように
通風と水はけを
良くする。 P.9-P.10

4 日常のちょっとした
お手入れこそが
秘訣。 P.11

安心

原料は天然成分のみ
土壌汚染、水質汚染をしません
（証明書付き）

上：小川耕太郎自宅　ウッドガーデン（木もちｅーデッキ特注使用）
左下：D.I.Y で鳥の巣箱を製作（D 様の庭）右下：D.I.Y で犬小屋を製作

Q ウッドロングエコの原料は？

A 原料は鉱物・植物・酸化鉄・ハーブなどの天然成分を使用。北欧からカナダへ移民した一家族が調合、製造しております。成分公開による類似品を防ぐため、特許の申請や成分開示をしていません。安全性の証明のために、①土壌汚染をしない証明書 ②成分安全データーシートを添付し販売しています。

塗りなおしメンテ不要

Wood Long-Eco 木材防護保持剤 ウッドロングエコ は

塗装メンテナンス不要

塗膜のように剥がれることがありませんので、
一度塗れば
その後の塗りなおしは
必要ありません。

※状況によっては、再塗装が必要な場合もあります。
（→詳細 P.13）

通常の屋外用自然塗料は１～３年に
一回は塗り直しが必要です。

経済的

Wood Long-Eco 木材防護保持剤 ウッドロングエコ って
安いの？ 高いの？

Wood Long-Eco 木材防護保持剤 ウッドロングエコ は

材料費 約 **¥200/㎡～**

塗りなおしメンテコスト、不要。

「結果的に安い！」と
考えられます。

安全カンタン

Wood Long-Eco 木材防護保持剤 ウッドロングエコ は

塗る時　揮発性物質が入ってないので取り扱いが安心！

後始末　お湯とせっけんで手や道具を洗うだけ！

左：福井県 S 保育園様　園児の塗り体験。
右：DIY で作ったアプローチとデッキ（三重県 S 邸）

屋外用自然塗料やペンキなどは…
- 塗る前にマスクや手袋が必要
- 後始末にシンナーなどが必要な場合も

塗布する木材の条件

なぜ？木材を確認する必要があるの

ウッドロングエコに含まれる天然由来の成分と、木材の表面成分が反応し固着することにより、腐朽菌の活着を抑えます。
しかし化学薬剤のように腐朽菌を死滅させませんので、塗っても効果が期待できない場合があります。
必ず塗布する前に木材のご確認をしてください。

☑人工乾燥材をご使用ください

▲生材、軒下などで乾燥させた材には効果が期待できません
（理由）人工乾燥の熱により一度腐朽菌を死滅させ、室内保管された木材に塗布することで、効果が発揮されます。

☑新しい木材にお使い下さい

▲古材や、施工後しばらく経過してからウッドロングエコを塗っても効果が期待できません
（理由）風雨に晒されている間に、腐朽菌が付着する可能性が高いため。

☑日本は全国的に湿度が高いので水に強い材をお薦めします

（理由）水に強い木を選択することも大切です。施工される土地の条件（湿気が多い、日当たりが悪いなど）をよく調べ、その条件により適した木材を選択してください。

（水に強い木材の例）
① 赤身を使う（芯に近い部分）
② 高樹齢の木
③木目が詰まった木材
④ 雨に強い地域で育った材

☑腐りやすい木に塗布しても長持ちさせることはできません

（理由）ウッドロングエコだけで木を腐らなくすることはできません。ウッドロングエコを塗ることで塗っていない同じ木より長持ちするように出来る塗料です。腐りやすい木に塗布しても強靭な木に変わるわけではありません。

※下記以外にも何かありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

☑すでに塗装されている木材には塗れません

（理由）すでに塗装されている木材には、ウッドロングエコの成分が浸透しません。

☑パーティクルボード合板には効果がありません

▲注：MDF、集成材は塗装可能ですが、合成糊ポリマーなどが含まれており、効果が一様ではありませんのでお薦めはできません。

☑ハードウッド等

▲注：ハードウッドはウッドロングエコが浸透しにくいので効果が発揮しにくい場合があります。

■ウッドロングエコ塗装が不向きなケース

本品は、木材防腐剤ではなく、表面処理用の水性木材保護塗料です。
設計上、外観構造材等の強度劣化耐用が規定される箇所でのご使用はお控えください。

漆喰壁やコンクリートに触れる木材には、無塗装でもアルカリ汚染のシミ発生の可能性があり、表面をコーティングする塗料ではない木製品では防止できませんので、塗装は控えて下さい。（NG例）1階の外装は漆喰、2階が木の外壁

【良い例】▶
写真のように1階が木の外壁、2階が漆喰壁の場合は使用できます。
その場合、1階と2階の間に水切を入れてください。

塗り方 カンタンだからこそ、丁寧に塗布してください。

塗り方の動画がご覧いただけます。

Wood Long-Eco

塗布後の再確認もお忘れなく!

溶く前に

溶く前に塗布面積を算出する

ウッドロングエコ(粉末)は、水で溶いて使用します。

ウッドロングエコ	水	塗布面積
3 g	0.5 ℓ	2 度塗りで約 2 ㎡
20g	3.8 ℓ	2 度塗りで約 14 ～ 18 ㎡
100g	19 ℓ	2 度塗りで約 70 ～ 90 ㎡

▲木の表面だけでなく、木裏や木口も計算に入れ、塗布面積を算出してください。
▲荒材(カンナがけをしていない木材)は、塗布できる面積が1/3程度になります。
▲ウッドロングエコは小分けにして溶かさないでください。

溶く

溶く容器はポリバケツをご使用ください

溶液は弱酸性のため、金属製のバケツ(アルミなど)をご使用になると錆が生じます。

▲溶く時の注意事項

▲乾燥粉末を吸い込まないように注意してください
(※粉末は強酸性の濃縮状態です。)

▲乾燥粉末が目などに入った場合は、すぐに流水で 15 分以上すすいでください。
(※異常を感じる時は、速やかに強酸性であることを告げ医師にご相談下さい。)

▲間違って溶液を飲み込んだ場合も、速やかに医師にご相談下さい。

▲本品(乾燥粉末)を皮膚につけないでください。
※手荒れ、肌荒れになる場合があります。付着した時はお湯と石鹸で洗い落としてください。

塗る前に

養生について

塗る前に、溶液がまわりに付着しないよう、シートなどで養生して下さい。

ステンレス製の釘またはメッキ処理された釘をお使いください

極寒地域の場合

塗布した直後にウッドロングエコが凍結するような気温下では、効果が期待できません。

塗る

塗布方法

木材を全面塗装してから施工して下さい。(表、裏、木口など)
▲施工後に塗装すると、塗れない部分、塗りにくい場合があります。

刷毛塗り	ゆっくり刷毛で押すようにして２度塗り
木材を浸す	塗布する木材が大量の場合は、水槽やタンクなどに溶液をため最短 10 分間木材を浸して下さい。但し、土に接する箇所(枕木・プランター・杭など)は最短２日間浸してください。

塗り残しの無いように丁寧に塗って下さい

木口、ひび割れ部分

▲この部分は溶液の浸透が早いので、塗り残しのないよう気をつけてください。

樹脂を多く含む木材(例:ひのき)及び箇所(例:節)

▲樹脂で溶液が浸透しにくく、水滴状になりすべり落ちることがありますので丁寧に塗布して下さい。

色変化を早めたい場合

水で溶かす際に濃い目にウッドロングエコを溶かすか、塗布後完全に乾燥させてから、水で表面を濡らし湿潤と乾燥を繰り返してください。

塗布後

片付ける

作業終了後はお湯と石けんで、手や使用した道具などを洗い流して下さい。シンナーや有機溶剤などは、一切必要ありません。

塗布一週間後に、塗った面を確認する

一週間ほど経つと、塗り残しや塗りムラなどが、色の違いではっきりわかります。塗り残しのある箇所は再度その部分に塗布してください。

充分に乾燥するまで養生をする(晴天で3日程度)

塗布後、充分に乾燥する前に、雨などが降ると、成分が流れ周りのコンクリート、漆喰、金属類にシミがつくことがあります。

保管する

水に溶いた状態で保存する場合は、冷暗所に保存し、半年以内に使い切って下さい。冬場は溶液が凍らないところに保管して下さい。

粉末は、常温で半永久的に保存できます。

施工について

ウッドロングエコを塗布した木材でデッキなどを施工する際には、通風をとり水はけを良くし、木に湿気がこもらないような工夫をしてください。

お願い

ウッドロングエコを塗布した木材を長持ちさせるには、適切な通風と水はけがポイントです。ウッドデッキ施工ポイントを参考に、それぞれの条件に合わせて、工夫を重ねて下さい。外壁、木製塀なども同様に適切な調湿と水はけが大切になります。

ウッドデッキは地面に対して水平につくられるので、常に土埃や風雨に晒され、家全体より早く傷みます。そのことを考慮し施工してください。

後々の修繕がしやすい

家族の年齢構成が変わるとデッキの使い方やデッキスペースの利用方法も変わりますよね。

デッキは、独立してつくると（家と一体化しない）後々、リフォームがしやすくなります。

木は一本一本異なるから一箇所だけ早く傷む場合もありますよね。

そうですね。例えばネジ釘などを使って、カンタンに取り外せるようにするなど、後々の修繕も考えてつくりましょう。

施工場所について

下記のような条件が重なる場合、どうしても寿命が短くなります。

- ●日当たりが悪い
- ●風通しが悪い
- ●段々畑の敷地の裏側
- ●雨だれがあたる
- ●過去に沼地だった　など

（対策）条件の悪い場所に設置するケースはいくらでもあります。その場合でも、施工に工夫を重ねると長持ちします。また、良い条件下でも同様です。

通風の計画を立てる

デッキと家全体の通風を考慮し、計画を立ててください

植栽も通風と水はけの良い計画を

あらかじめ道具置き場を考えましょう

①犬小屋、ゴミ箱、ガーデニング道具、自転車、竿干し立て、エアコンの室外機他、屋外に置くものを予測し、出来るだけデッキの上に直接置かないように計画すると、通風がとりやすくなります。

エアコン室外機の排水先を計画する

木材を選ぶ

日本は全国的に湿度が高いので、水に強い材、また後々ご自身で修理しやすい木材をお薦めします。

5ページの「塗布する木材の条件」もご参考にしてください。

デッキ板の厚みを選ぶ

▲デッキの場合、厚さ30mm以上のものをお薦めします。
風通しの悪い箇所は40mmにし、赤身材を使用するなど工夫を重ねてください。

構造

デッキの下は土間コンクリートを打った方が長持ちします
デッキの床高は地面に近すぎると、風が通らず、木材の傷みが早くなります

ホゾ穴

ホゾ穴を極力少なくして、水を入りにくくする。

水はけ

何枚もの板が重ならないようにして、水を抜けやすくする目透かしをとってください

例右：リフォームのため充分な床高が取れなかったため目透かしは12mm、デッキ材の厚み40mm、杉の赤身材を使うなどの工夫を重ねています。

パッキンをいれる

大引き工法でウドデッキをつくる場合は床板と大引きの間に必ず樹脂製パッキンを挟んでください。

水勾配を必ずとる

土間コンクリートを打つ時は、水勾配をとる
デッキ板を張る時は、約1%程度 水勾配をとる

まく板を張る場合

まく板を張らないほうが通風はとれますが、デザイン上必要な場合も通風を考え、板と板が接触しないように張るなどの施工をお勧めします。

《現場からのよくあるご質問》

Q ウッドロングエコを塗ったウッドデッキに傷がつき剥げてしまった。再塗装するの？

A 剥げた部分を掃除してから、再塗装してください。

Q ウッドロングエコを塗った木材をカットしました。木口は塗るの？

A はい。必ず木口を再塗装してください。

日常のお手入れ

木に湿気がこもらないように、ちょっとした
お手入れが長持ちの秘訣です。

掃除

ちょっとのお掃除で長持ち
特にデッキは砂埃などがたまりやすいので
デッキブラシと水で洗い流してお掃除して下さい

例）庭仕事でついた土など
例）バーベキューの食べこぼし
例）犬などのペットの毛が根太へ絡まる
例）デッキに生えてきたコケ

そのままにして置くと土や毛
食べ物などが水分を含み
木材が傷みやすくなりますよ

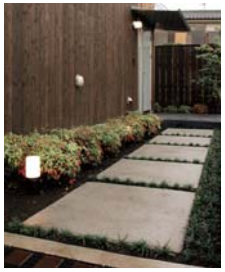
体験談：1 ２人目の子どもが生まれてから、ウッドデッキの掃除まで手が回らず、汚れがたまりコケもつき始めました。そうなると掃除が億劫になり、さらに手入れをせずほったらかし。ブラシ型高圧洗浄機で、試しにデッキを洗浄したところ、コケもすっきり落ち、ビックリするほどキレイになりました。上の子はウッドデッキでよく遊んでいましたが、掃除をしなくなったら、誰も使わなくなりました。(笑) 子供達は絵本が好きなので、晴れた日にデッキで読み聞かせたり、私の趣味である野外料理などイロイロと楽しんでいます！

▲注：高圧洗浄機はブラシ型のものをお使いください。また圧力が強いと木が欠けることもあります。高圧洗浄機の説明書をよく読み、ご自身で加減をしてからご使用ください。

植栽の手入れ

デッキや外壁が植栽や庭木によって日当たりや風通しが悪くなる場合は
枝払い、間引きなどで通風を良くし、木材に湿気がたまらないようにして下さい

体験談：2 思い切って庭全面をデッキにしました。照葉樹を３本植え、葉がデッキにかからないように下枝を切っています。普段は掃きそうじ。根太に絡んだ落葉は歯ブラシでとっています。時々デッキブラシで洗い流しています。



体験談：3
外壁に植栽がつかないように、自分でも手入れができる植物を選びました。

こまめに移動

デッキには植木鉢などを直接置かず、テーブル、ベンチ、棚などを置いている場合は
こまめに移動させ、湿気がこもらないようにしてください

塗布後の色変化について

Wood Long-Eco

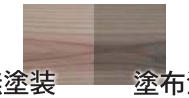
ウッドロングエコを塗った材は何色になるの？

ウッドロングエコは着色用塗料ではありません。本品の塗布により、木材表面の色が変わるのは、木材の表面とウッドロングエコの成分が反応したためです。よってどのような色に変わるかは、樹種や産地など諸々の要素によって異なります。試し塗りしてから塗布してください。

ウッドロングエコを塗った材の上に、色は塗れるの？

オイルフィニッシュなどの浸透性の塗料は塗れます。但し塗料に含まれている金属とウッドロングエコが反応するケースがあります。必ずご自身でテストしてからご判断ください。

塗布後の色変化



無塗装　塗布済

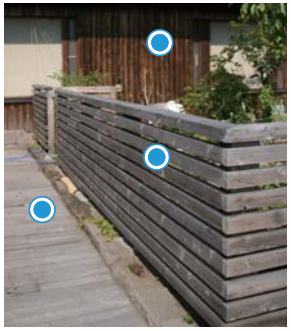
塗った直後は色ムラがあります。多少でも色が変化すれば塗れています。右記の板のように塗った直後は少し緑がかかったグレーになります。

塗布後一ヶ月～半年くらい経つと、塗りムラが目立たなくなります。デッキ全体でみるとこんな感じになります。

そうなんだ

塗布する樹種の違い

◉ の木材は樹種が異なります。このように樹種や木のとりかた（赤身や白身の部分）などにより色味が変わります。
（例：杉は赤褐色になるケースが多い）



アルカリ成分による色抜け

アルカリ成分（尿、鳥の糞 他）がデッキについた場合、その部分だけ色が抜けた感じになります。その場合はぬるま湯で洗い流し、再塗装してください。

方角などによる日当たりの違い

※下の写真は、同じ杉の赤身材を使っています。

■西側の陽当たりのよい外壁

■庇の下（東側）

上の３点の写真のように、同じ材を使った家でも、陽当たりの違いによって、ウッドロングエコを塗布した木材の色変化が異なります。陽が良くあたる場所は銀白色に、あまり陽があたらない場所は渋めのブラウンになります。

再塗装するケース

Wood Long-Eco

ウッドロングエコを塗った材は何もしなくてもいいの？

基本的に塗りなおしメンテは必要ありません。
但し**例外**があります。

再塗装するケース 1　ウッドロングエコを塗った木材に傷がつき一部剥げてしまった

▲剥げた部分を掃除してから再塗装してください。

再塗装するケース 2　塗布後の小さなヒビ割れ箇所

▲小さなヒビ割れなどは、雨などによる水分湿潤と乾燥を繰り返すことで、徐々にヒビ割れた面にウッドロングエコが浸透しますので防護保持効果はありますが、状況に応じて再塗装してください。

再塗装するケース 3　芯材までに達するような大きな割れなどは

▲スプレーや刷毛などで染み込ませておくことをお薦めします。耐久性に問題がある場合は、とても危険ですので、すぐに新しい材に取り替えてください。

ウッドロングエコを塗った材が一部傷んでしまったけど

木は一本一本、目の粗さや強度の違いなどで、持ち具合が微妙に違います。
時には一枚だけ他の板より先に傷む場合もありますので、
その際は傷んだ材を取り替えるなど、適切な処置をしてください。

Wood Long-Eco の

木材防護保持剤　ウッドロングエコ

企画・設計・施工：ミワランド様（神奈川県）　ロハスガレージ プロジェクト

車の販売会社T様より「ecomoと同じようなコンセプトで、車のショールームができないか」という問い合わせから始まったロハスガーデンプロジェクト。エコカー・エコメンテナンスの提案を通して楽しいカーライフとサスティナブル精神を伝える場としてリノベーション。新建材に囲まれた空間から自然素材の空間に変わり、エコカーもイメージアップ！またロハスガレージでは地域コミュニケーションスペースとしても使われています。空間プロデュースを手がけたミワランド様は、オーガニックショッピングモール ecomo を経営。ecomoでは体験する自然素材の家をはじめ、ヨガなどのスクール、オーガニック野菜やレストラン他、地球という環境を理解しながら循環型社会を目指すライフスタイルの提唱を行っています。

ビフォー

アフター 1

アフター 2

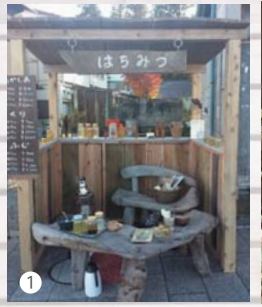
アフター 3

Wood Long-Eco の

木材防護保持剤　ウッドロングエコ

ウッドロングエコを塗布した木材の質感と植栽を積極的に楽しむ

樹木・リビング菜園など積極的に生活の中に緑をとりいれていらっしゃる例をご紹介します。それぞれに、手をかける楽しさが伝わってきますね。



1

2

3

4

5

① 黄金の比蜜様（群馬県）
非加熱、国産にこだわり安全安心な、はちみつを提供する、黄金の比蜜様のマルシェ用ブース。

② 帝国プラザホテル内 X'mas ディスプレー（東京都）
世界最大の森林国『フィンランドの森』をイメージしたアットホームな聖夜の世界観を演出。

③企画・設計・施工：ツリーハウスクリエーション様（東京都渋谷区）
同社は、ツリーハウスクリエーターの小林崇さんを中心に、ツリーハウスの企画、施工、イベントなどを手がけています。木の上の空間はいつもと違う視界や発想が得られます。木に寄り添い遊ぶことで、木や山のことを考えることも多くなり、共生意識も高まることでしょう。

④ある幼稚園では、ツリーハウスをつくってから子ども達が休まなくなったとか。遊びの中で危険なことも察知できるようになり、のびのびと鍛えられていくのでしょうね。

⑤ミムクラフト一級建築士事務所様（宮崎県 都城市）
格子の建具と縁側にウッドロングエコを塗装したお宅です。格子越しで植栽と採光を楽しめ、縁側には火鉢と茶箪笥が置かれています。

数々の実績

Wood Long-Eco は
木材防護保持剤 ウッドロングエコ
何も塗っていない木より
約2.2倍 長持ち

ウッドロングエコの海外での実績は長く、塗ってから60年間以上効果が持続した例もあります。日本ではまだ十数年の実績しかありません。2020年頃には20年間の実例をご覧いただけると思います。

効果の現れ方や持続期間は、天然物だけでできた無害な防護保持剤という性質上、その国の気候や環境、また施工条件、木の性質などと密接な関係があると思われます。木は一本一本違うため、絶対的な数値で「長持ち」を表現するのは難しい面があります。重ねて申し上げますが、塗布後の材をより長持ちさせるには「①使用する木材の事前確認 ②塗り方 ③施工方法 ④日常のお手入れ」が大切です。

ウッドロングエコの輸入元は、H.Pの「よくいただく質問」の中で、情報を公開しています。小川社でもできる限り情報をオープンにし、天然素材の性質をご理解いただけるよう努力してまいります。

カナダ環境省国立公園課

国立公園課
220-4番街S.W.
カルガリー、アルバータ州
1994年2月

アバ サイン社の件

本文書は、アバサイン社が、アルバータ州のバンフ国立公園、及びブリティッシュコロンビア州のヨーホー国立公園内における、様々な種類の説明案内表示板設置事業に対して多大な貢献をしたことを証するものである。
アバサイン社は、幅広い種類の構成をもってその独自な製作品を仕上げ、かつ他と比べても、その価格は十分満足できるものであった。

アバサイン社製作の木製表示板は、1981年から1986年の試験期間にも耐え、山岳地帯の厳しい天候にもかかわらず、その機能を現在まで保持し続けている。
この結果、アバサイン社が使用した「ウッドロング-エコsw2000」木材防護剤の効果は、大変顕著なことがわかったので、われわれ国立公園課職員は、近年実施したクータニー国立公園内の一連の野点看板設置事業においても、再度使用することを決定した。　以上

カナダ環境省国立公園課 広報公聴係長
Environment Canada Parks Servise Chief. Communication Media
ロブ・ウオード

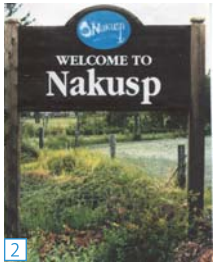
Canada

◆報告◆
小川耕太郎∞百合子社より

日本の研究機関で行われ2003年に発表された、腐朽試験の結果（除く溶脱検査）では、白色腐朽菌（カワラタケ）に対してはJIS規格防腐剤と同じ（質量損失3%以下）で強い抗菌性を示し、褐色腐朽菌（オオウズラタケ）の場合は、約30%の質量損失を伴いますが、無塗布木材のおおよそ2.2倍との効果結果がでました。経時変化での木材腐朽抑制効果が実証されています。

1

1 1968年頃塗布。スウェーデン
塗布されてから、現在も文化財として展示されているスウェーデンのログハウス。



2

2 1988年設置・カナダブリティッシュコロンビア州
カナダ環境省より指定推薦されるきっかけとなった国立公園内の木製野外看板。

3

3 2009年塗布。栃木県霧峰高原県道日光青柳線 道しるべ
実行委員：霧峰を元気にする会様
彫刻：小林哲二様　山本和孝様

4

4 2010年頃塗布。茨城県T保育園
設計：ヤマト建築設計事務所様
小川社の木もちe-外壁、木もちeーデッキで施工。

5

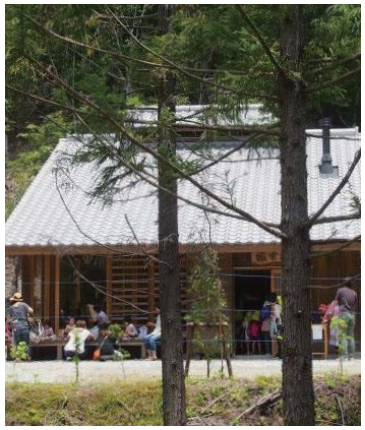
5 2007年塗布。秋田県K大学宿舎
設計：設計チーム木 協同組合様
NPO木の建築フォーラム　第4回木の建築賞を受賞。

6

6 2006年塗布。秋田県A小学校
設計：設計チーム木 協同組合様
東北建築賞第29回（2008年度）受賞。
NPO木の建築フォーラム 第4回木の建築賞を受賞。

7

7 2017年塗布。広島廃校リノベーション
江田島沖保育園
デザイン監修：東京大学 隈研究室様
ひろしま さとやま未来博2017の一環。
建築家 隈健吾さんの研究室を迎え廃校を再生。コンクリートだった縁側に木もちeーデッキで施工。



森の中の静かなゲストハウス　設計・施工/清水工務店様（和歌山県）

声 ゲストハウス「滋雲庵（ジウンアン）」は、約5キロ圏内の井鹿の木を切って建てられました。エネルギーもほぼ自給自足できるよう裏にはソーラー発電、台所には昔ながらのおくどさんを設置。自然に寄り添う施主様の考え方が建物にあらわれています。

偶然性を意匠として表現　施工/幾何楽堂様（栃木県）

声 ウッドロングエコの色味は、樹種の成分とウッドロングエコの成分が化学反応をした結果なので、塗らないとわからない偶然性を意匠として表現しました。写真右のドアと写真左の扉にかかれた文字は、柿渋を塗布してからウッドロングエコを塗り、薄墨色のような深みをだしました。

自分で組み立てと解体ができるウッドブース

声 ウッドロングエコを塗布した木の感触を空間で体感できる「木もちｅーデッキで組み立てる展示用ブース」をつくりました。展示場では人だかりができるほど反響がありました。

デザイン/田中大造 様

左：旧リトルトーキョー様　施行/D.I.Y

声 D.I.Y 初心者の人も参加できるように木もちｅーデッキ材で、店舗のデッドスペースに小屋風なスペースと縁側をつくりました。小さなスペースですが、縁側で腰掛けながら仲間と楽しむ場になっています。

下：設計/望月建築設計室様
施工/望月工務店様（愛知県）

声 白のガルバ＋木の外壁がモダンな装いです。

左：天橋立駅（京都）

声 日本三景のひとつ天橋立の駅の外壁全面を木もちｅ―外壁で施工しました。

下左：ミムクラフト一級建築事務所様（宮崎県）

声 可動式格子の建具は、プライバシーを確保しつつ、外と室内をゆるやかにつなぎます。（外壁、格子にウッドロングエコを塗布）

下右：ミムクラフト一級建築事務所様（宮崎県）

声 室内からみた縁側。軒下、縁側（ウッドデッキ）すべてにウッドロングエコを塗布しました。

Wood Long-Eco
ウッドロングエコを輸入した動機

近年になり、主に銅、ヒ素、クロムに代表される重金属の木材保護剤が世界中で使用されてきました。日本では1996年の水質汚濁防止法により、その使用は激減しましたが、今後、長期にわたるその廃材の処理問題が懸念されています。アメリカでは、子どもの木製遊具からのヒ素暴露や、廃材のマルチリサイクル製品の土壌からの地下水汚染も報告されています。現在ではそれらの木材保護剤は、世界中の国々で禁止されてきています。

そのような中で、私のパートナーであり、熊野で太極拳や気功を教えているカナダ人が、ウッドロングエコをつくっているファミリーと出会いました。彼も自分の家を建てる際に実際に自分で塗布してみて、生態系に負担をかけないことを確認致しました。

本製品を使用することで、ひいては森を守る、水を守る、土を守るお手伝いをさせて頂くことができればと願い、日本への輸入を始めました。地球環境にとっては小さなことかもしれませんが、まず一人一人の身近なことから、そして出来ることから始めることが大切と考え、本製品をご案内申し上げることに致しました。

輸入元 （株）新宮不二

ウッドロングエコの由来

古来より、北欧のきこり達が家族ごとに代々伝えてきた木材保護液があり、後にカナダへ移民した一家族が、歴史的文化財のログハウス修復のために、この保護液を復活させました。その後、文化財修復の専門家達による評判により、環境に関心の高い建築業者や造園家たちの間で広がっていきました。移民した家族達は「自然保護の役に立つのなら」と事業化を一大決心し、様々な人々の協力を経て、ウッドロングエコが誕生しました。

【社会コスト】⇒小川社は、自然環境を大切にしながら自然の恵みを活かした商品を販売しています。しかし、その開発や生産、広告や配送のために、電気やガソリン、紙などを消費し、ゴミを排出しています。そのことで自然や環境にかけてしまった負荷を少しでも還元するため、会社創立時から「社会コスト」を計上し、毎年の売上げから0.3%を森林や環境を守る活動や団体に継続的に寄付しています。 ※活動の詳細はこちらからご覧ください▲

ウッドロングエコの詳細は
こちらからご覧いただけます
▼

販売代理店
(有)小川耕太郎∞百合子社
〒519-3921 三重県尾鷲市賀田町105番地
https://mitsurouwax.com

お問い合わせ先